

5月12日～5月18日 11/15

教員	小学校	小学校の教員は、実態調査以上に働いていると思います。取れていない休憩時間を取り除いた勤務時間の実態調査や持ち帰り仕事の正確な時間を記録するほどの余裕もない。若い子は書かれた仕事や分担されたものしかない傾向もあるし、ハラと言われる最近では、頼みにくいし指摘しづらい。結局失われた世代50代前半から40代半ばがずっと苦労している。生活時間費やさないと明日が回らない。自分もやめたいし勧めない。	匿名希望
教員	小学校	児童下校後、教材研究や事務仕事ができる時間は1時間程度しかない。子どもがいる間は仕事をしている。授業・児童対応と準備・各種の対応の2つの仕事をしなくてはならないが、時間的にそもそも無理。給料を適切に上げることはもちろんだが、時間の中にどう割り振っても入らない事実を社会や国は知り、子どもを早く帰すか正規職員を増やすか内容を減らすべき。教科も増え、個に応じたを求めるなら、職員も増やさなければできない。	匿名希望
教員	中学校	働き方改革と言われているが、あまり実感としてはない。校務支援システムの導入がされたが、今のところそのシステムに振り回されている状態。	匿名希望
教員	中学校	土日の部活動地域移行が少しずつ進められているが、平日に部活を行うので意味がないと思う。平日見てのなら大会も見たいと思う。また、平日18時30分完全下校になっていて、定時が16:45なのでそれだけでも1日2時間弱の超過勤務。22日間あったとして44時間。残り1時間で何ができるのか。教材研究の時間や家庭への電話連絡などをすれば中学校勤務で45時間を超えないことは物理的に不可能だと思う。	匿名希望
教員	中学校	他県でも教員をしておりませんが、県は特に部活動が長く夜7時まで行っている。学校で保管される要録にも、様々な書き込みが他県よりも圧倒的に多い。進路事務も書かなければならない文章が多く、冬休みや春休みが書類整理に追われている。	匿名希望
教員	小学校	残業をしないと終わることができない仕事の多さが問題だと感じる。しかし、子どもたちに向き合うため殆どの教員は全力を捧ぐ。その心身共にくる疲労から教員不足に繋がらないようにするため、副担任制度や専科（音楽や理科以外にも）の配置が最善の手立てだと思う。	匿名希望
栄養教職員	小学校	栄養教職員です。調理場は大型センター化しているのに、栄養教職員の数は変わらず、仕事が増え続けています。町に一人かふたりでは、食教育もできません。栄養教職員の数を増やしてほしいです。	匿名希望
教員	小学校	働き方改革はいろんな理由をつけて、なかなか進まない。保護者が喜ぶから、大事なことから、今までしていたことだから、という声が少しでもあれば実行できない。	くまもん
教員	小学校	教師の働き方改革は急務である。勤務時間内で教材研究ができるよう文科省が推奨する週時程を参考に午後にゆとりの取れる週時程を職員みんなで作成したが、働き方改革は、教師が楽するためのものではないと管理者に言われ却下された。定義の理解相違があり改革に対しての本気度が感じられず残念。まずは教師のゆとりが不可欠。学校崩壊が始まっている。が	レモン
教員	小学校	現在、40才子育て中です。3人の子どもがいます。（4歳、8歳、9歳）毎日17時で勤務が終わることなく働いています。子どものこと（食事、入浴、就寝等）があるので、18時頃には帰らなくてはいいけないですが、当然仕事が終わることがないので、再び夜学校へ行って仕事をしています。働き過ぎで人が亡くなるこの仕事、いつになったら人が亡くなくて済むのでしょうか。人の命を大事にできる日本（行政）を願います。	たか